

# 事前伺い

[平成20年度設置]

計画の区分：研究科の専攻設置

注1

福井大学大学院 教育学研究科 学校教育専攻  
教科教育専攻

注2

## 【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 福井大学  
平成21年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 総務部経営戦略課

職名・氏名 カチョウホ サ ナカガワ カズハル  
課長補佐 中川 和治

電話番号 0776-27-8055

（夜間） 0776-27-8055

F A X 0776-27-8518

e-mail sskikaku-k@ad.u-fukui.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は事前伺い手続き時の設置計画の概要の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 〇〇学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科（通信教育課程）」

## 目 次

1	調査対象大学等の概要等	1 頁
	・ 学校教育専攻	2 頁
	・ 教科教育専攻	4 頁
2	授業科目の概要	
	・ 学校教育専攻	6 頁
	・ 教科教育専攻	7 頁
3	既設大学等の状況	15 頁
4	教員組織の状況	17 頁
5	その他全般的事項	18 頁

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 福井大学

## (2) 大学名

福井大学

## (3) 大学の位置

〒910-8507  
福井県福井市文京3丁目9番1号

(注) 『(3) 大学の位置』は、対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。

(4) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 2 様式は, 平成19年度開設の博士後期課程の場合(平成21年度までの3年間)ですが, 開設年度に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)  
 3 定員を変更した場合は, 備考欄に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(4) -① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
教育学研究科 学校教育専攻 (修士(教育学))	2 年	12 人	24 人	基礎となる学部名等 教育地域科学部

(注) 「備考」欄に基礎となる学部等の名称を記入してください。

(4) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

報告年度 区 分	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員	( ) 人	( - ) 12 人	( - ) 12 人	0.79 倍	
志願者数	( )	( 1 ) 11	( 3 ) 16		
受験者数	( )	( 1 ) 11	( 3 ) 14		
合格者数	( )	( 1 ) 11	( 3 ) 13		
B 入学者数	( )	( 1 ) 7	( 3 ) 12		
入学定員超過率 B/A	( )	( - ) 0.58	( - ) 1.00		

- (注) 1 ( )内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 2 「平均入学定員超過率」欄には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(4) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成19年度	平成20年度	平成21年度	備 考
1年次	[ ]	[ 1 ] 7	[ - ] 12	
2年次	[ ]	[ ]	[ 1 ] 7	
計	[ ]	[ 1 ] 7	[ 1 ] 19	

(注) 1 [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(4) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成19年度	計 [ ]	計 [ ]	[ ] %
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	%
(主な退学理由)			
平成20年度	計 [ 0 ]	計 [ 7 ]	[ 0 ] %
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	
	うち平成20年度入学者 0人	うち平成20年度 7人	
(主な退学理由)			
平成21年度	計 [ 0 ]	計 [ 19 ]	[ 0 ] %
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	
	うち平成20年度入学者 0人	うち平成20年度 7人	
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 12人	
(主な退学理由)			
平成22年度	計 [ ]	計 [ ]	[ ] %
	うち平成19年度入学者 人	平成19年度 人	
	うち平成20年度入学者 人	平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	平成22年度 人	
(主な退学理由)			

(注)1 [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。

2 「入学者数に対する退学者数等の割合」欄は、各対象年度における退学者等の数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

3 「主な理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

- ・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学
- ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

(4) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 2 様式は, 平成19年度開設の博士後期課程の場合(平成21年度までの3年間)ですが, 開設年度に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)  
 3 定員を変更した場合は, 備考欄に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(4) -① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
教育学研究科 教科教育専攻 (修士(教育学))	2年	25人	50人	基礎となる学部名等 教育地域科学部

(注) 「備考」欄に基礎となる学部等の名称を記入してください。

(4) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

報告年度 区 分	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員	( )人	(-)人 25	(-)人 25	1.06倍	
志願者数	( )	(1) 32	(2) 40		
受験者数	( )	(1) 32	(2) 36		
合格者数	( )	(1) 28	(1) 29		
B 入学者数	( )	(1) 24	(1) 29		
入学定員超過率 B/A	( )	(-)人 0.96	(-)人 1.16		

- (注) 1 ( )内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 2 「平均入学定員超過率」欄には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(4) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成19年度	平成20年度	平成21年度	備 考
1年次	[ ]	[ 4 ] 24	[ 7 ] 29	
2年次	[ ]	[ ]	[ 4 ] 23	
計	[ ]	[ 4 ] 24	[ 11 ] 52	

(注) 1 [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(4) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成19年度	計 [ ]	計 [ ]	[ ] %
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	%
(主な退学理由)			
平成20年度	計 [ 1 ]	計 [ 4 ] 24	[ 4.2 ] %
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	
	うち平成20年度入学者 1人	うち平成20年度 24人	
	(主な退学理由) ・就職 1人		
平成21年度	計 [ 0 ]	計 [ 11 ] 53	[ 1.9 ] %
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	
	うち平成20年度入学者 1人	うち平成20年度 24人	
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 29人	
	(主な退学理由)		
平成22年度	計 [ ]	計 [ ]	[ ] %
	うち平成19年度入学者 人	平成19年度 人	
	うち平成20年度入学者 人	平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	平成22年度 人	
(主な退学理由)			

(注)1 [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。

2 「入学者数に対する退学者数等の割合」欄は、各対象年度における退学者等の数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

3 「主な理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

- ・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学
- ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

## 2 授業科目の概要

### <教育学研究科>

#### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
(学校教育専攻共通科目)												
協働実践研究プロジェクト	コミュニティ学習支援	コミュニティ学習支援実習Ⅰ	1		2		2					
		コミュニティ学習支援実習Ⅱ	1		2		2					
		コミュニティ学習支援実習Ⅲ	2		2		2					
		コミュニティ学習支援実習Ⅳ	2		2		2					
	特別支援教育コーディネーター	特別支援教育コーディネーター実習Ⅰ	1		2		2	1	1			平成20年度、採用により、教員を追加(21)
		特別支援教育コーディネーター実習Ⅱ	1		2		2	1	1			"
		特別支援教育コーディネーター実習Ⅲ	2		2		2	1	1			"
		特別支援教育コーディネーター実習Ⅳ	2		2		2	1	1			"
課題研究	課題研究	2	4			10	1	2			配置換により、教員減(21)	
(学校教育専攻専門科目)												
コミュニティと人間	コミュニティと人間形成	1・2		2			1	1			平成20年度、採用者の職種変更(21)	
	コミュニティと学校	1・2		2		1	1				採用者の職種変更(21)	
	生涯学習研究	1・2		2		1	1				配置換により、教員減(21)	
	学校カウンセリング研究	1・2		2		1						
	特別支援研究	1・2		2		4		1			平成20年度、採用により、教員を追加(21)	
	臨床発達心理学研究	1・2		2			1					
	地域社会研究	1・2		2		1						
	地域・社会共生研究	1・2		2		1	1				平成20年度、教員の昇格(21)	
	個別教育支援研究	1・2		2		4		1			平成20年度、採用により、教員を追加(21)	
	生活保障論	1・2		2								
	地域福祉研究	1・2		2								
	地域経済研究	1・2		2		1						
	共生社会研究	1・2		2								
学校と社会	学校社会学	1・2		2		1						
	生涯学習社会	1・2		2		1						
	教育の歴史	1・2		2			1					
	学習のプロセスと組織	1・2		2			1	1			平成20年度、採用者の職種変更(21)	
	学習とコミュニティ	1・2		2			1	1			"	
	生徒指導研究	1・2		2								
	公教育の理念と課題	1・2		2			1	1			平成20年度、採用者の職種変更(21)	



学校 コミュニ ニテイ	発達と学 習の支援	道徳教育研究	1・2	2							
		教育心理学研究	1・2	2		1					
		発達心理学特論	1・2	2		1					
		発達心理学演習	1・2	2		1					
		教育評価・心理検査（実習を含む）	1・2	2				1			
		臨床発達心理学演習	1・2	2					1		
		臨床心理学研究	1・2	2							
	特別支 援教育	知的障害教育特論	1・2	2		1					
		知的障害者教育課程演習	1・2	2		1					
		肢体不自由教育特論	1・2	2		1					
		肢体不自由教育課程演習	1・2	2		1					
		重複障害教育特論	1・2	2		1					
		重複障害教育課程演習	1・2	2		1					
		病弱者臨床心理学特論	1・2	2				1			〃
病弱者臨床心理学演習	1・2	2				1			〃		
発達障害者心理学特論	1・2	2		1							
発達障害者心理学演習	1・2	2		1							
コミュニ ニテイ 学習支援	地域 教育学	博物館学習研究	1・2	2		1					
		地域教育文化研究	1・2	2		1	1				採用により、教員 を追加(21)
		健康教育研究	1・2	2		1					
		生涯スポーツ研究	1・2	2							
		国際文化研究	1・2	2							
		国際教育研究	1・2	2							
		環境教育研究	1・2	2							
		消費者教育研究	1・2	2							
		ボランティア教育研究	1・2	2							
		教育情報ネットワーク研究	1・2	2							

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
(教科教育専攻共通科目)												
協 働 実 践 研 究	P C A 型 カリ キュ ラム 開 発 群 I	数学的リテラシーⅠ (調査・構想)	1	2		3	1 2					退職により、教員 減(21)
		数学的リテラシーⅡ (カリキュラム開発)	1	2		3	1 2					〃
		数学的リテラシーⅢ (実践と省察)	2	2		3	1 2					〃
		数学的リテラシーⅣ (再構成と報告書作成)	2	2		3	1 2					〃
	P C A 型 カリ キュ ラム 開 発 群 II	問題解決リテラシーⅠ (調査・構想)	1	2		4 3	1 3					配置換により、教員 減(21)
		問題解決リテラシーⅡ (カリキュラム開発)	1	2		4 3	1 3					〃
		問題解決リテラシーⅢ (実践と省察)	2	2		4 3	1 3					〃
		問題解決リテラシーⅣ (カリキュラムの再構成と報告 書の作成)	2	2		4 3	1 3					〃
	P C A 型 カリ キュ ラ	科学的リテラシーⅠ (調査・構想)	1	2		3 4	1					担当者の変更(21)
		科学的リテラシーⅡ (カリキュラム開発)	1	2		3 4	1					担当者の変更(21)

究 プ	ム 開 発 群 Ⅲ	科学的リテラシーⅢ (実践と省察)	2	2		<del>3</del> 4	1				〃
		科学的リテラシーⅣ (報告書作成と公表)	2	2		<del>3</del> 4	1				〃
ロ ジ エ ク ト	P I S A 型 カ リ キ ュ ラ ム 開 発 群 Ⅳ	読解リテラシーⅠ (研究・分析)	1	2		1	<del>2</del> 4				配置換により、教 員減(21)
		読解リテラシーⅡ (リテラシーの形成とテキスト 分析)	1	2		1	<del>2</del> 4				〃
		読解リテラシーⅢ (カリキュラム・教材の研究)	2	2		1	<del>2</del> 4				〃
		読解リテラシーⅣ (学習プランおよび教材集の作 成と公表)	2	2		1	<del>2</del> 4				〃
P I S A 型 カ リ キ ュ ラ ム 開 発 群 Ⅴ	21世紀に対応した社会系教科 カリキュラムの開発Ⅰ(基礎研 究)	21世紀に対応した社会系教科 カリキュラムの開発Ⅰ(基礎研 究)	1	2		4	5				
		21世紀に対応した社会系教科 カリキュラムの開発Ⅱ(カリキュ ラム 単元の構想)	1	2		4	5				
		21世紀に対応した社会系教科 カリキュラムの開発Ⅲ(カリキュ ラム 単元の作成と実践基礎研 究)	2	2		4	5				
		21世紀に対応した社会系教科 カリキュラムの開発Ⅳ(カリキュ ラム 単元の再構成と報告書の 作成)	2	2		4	5				
探 究 と 体 験 型 カ リ キ ュ ラ ム 開 発 群 Ⅰ	音楽科教育カリキュラムの課 題と視点	音楽科教育カリキュラムの課 題と視点	1	2		1					
		教科専門の立場からの 「主体性」の理論と実践	1	2		4	<del>±</del>				配置換により、教 員減(21)
		学習指導要領及び教科書に おける「主体性」の検討及び 教材開発	2	2		1					
		教科専門の立場からの教材 開発と実践	2	2		4	<del>±</del>				〃
探 究 と 体 験 型 カ リ キ ュ ラ ム 開 発 群 Ⅱ	鑑賞学習開発Ⅰ (鑑賞学習におけるツールとし ての語彙力の育成)	鑑賞学習開発Ⅰ (鑑賞学習におけるツールとし ての語彙力の育成)	1	2		<del>3</del> 4	1				カリキュラム充実 のため、教員を追 加(21)
		鑑賞学習開発Ⅱ (認知発達・知能の個人差を考 慮した鑑賞学習)	1	2		<del>3</del> 4	1				〃
		鑑賞学習開発Ⅲ (芸術作品における記号的 手法を用いた作品分析)	2	2		3	1				〃
		鑑賞学習開発Ⅳ (生活環境と美意識、弾力性を 持たせる鑑賞)	2	2		<del>3</del> 4	1				〃
探 究 と 体 験 型 カ リ キ ュ ラ ム 開 発 群 Ⅲ	保健体育カリキュラムづくり Ⅰ(保健体育カリキュラム の分析と課題)	保健体育カリキュラムづくり Ⅰ(保健体育カリキュラム の分析と課題)	1	2		1					
		保健体育カリキュラムづくり Ⅱ(健康・安全に留意した 実践とカリキュラムづくり)	1	2			1				
		保健体育カリキュラムづくり Ⅲ(体力の向上を目指した 実践とカリキュラムづくり)	2	2		1					

		保健体育カリキュラムづくり IV (運動技能の習得を高める実践とカリキュラムづくり)	2		2		1						
探究と体験型 カリキュラム開発群 IV		ものづくり教育Ⅰ (ものづくり教育と材料加工)	1		2		<del>2</del>		1				カリキュラム充実のため、教員を追加(21)
		ものづくり教育Ⅱ (ものづくり教育と機械)	1		2				1				
		ものづくり教育Ⅲ (ものづくり教育と電気電子)	2		2		1						
		ものづくり教育Ⅳ (ものづくり教育と情報)	2		2		1						
探究と体験型 カリキュラム開発群 V		小中高連携による 実践的英語コミュニケーション能力開発研究Ⅰ	1		2		1	1					
		小中高連携による 実践的英語コミュニケーション能力開発研究Ⅱ	1		2		3	1					
		小中高連携による 実践的英語コミュニケーション能力開発研究Ⅲ	2		2		1	1					
		小中高連携による 実践的英語コミュニケーション能力開発研究Ⅳ	2		2		1	1					
課題研究	課題研究		2	4		<del>46</del>	<del>22</del>	<del>15</del>					異動により、教員を追加(21)
(国語教育領域専門科目)													
教科教育研究		国語科教育研究Ⅰ	1・2		2		1						
		国語科教育研究Ⅱ	1・2		2			1					
		国語科教育特論	1・2		2		1						
		国語科教育特別演習	1・2		2		1						
教科に関する科目	国語学	国語学特論Ⅰ	1・2		2		<del>1</del>	<del>1</del>					平成20年度、教員の昇格(21) "
		国語学特別演習Ⅰ	1・2		2		<del>1</del>	<del>1</del>					
		国語学特論Ⅱ	1・2		2		1						
		国語学特別演習Ⅱ	1・2		2		1						
		日本語教育特論	1・2		2			1					
		日本語教育特別演習	1・2		2			1					
	国文学	国文学特論Ⅰ	1・2		2			1					
		国文学特別演習Ⅰ	1・2		2			1					
		国文学特論Ⅱ	1・2		2		1						
		国文学特別演習Ⅱ	1・2		2		1						
	漢文学	漢文学特論Ⅰ	1・2		2								
		漢文学特別演習Ⅰ	1・2		2								
		漢文学特論Ⅱ	1・2		2		1						
		漢文学特別演習Ⅱ	1・2		2		1						
漢文学特論Ⅲ		1・2		2			1						
書道	書道特論	1・2		2		1							
	書道特別演習Ⅰ	1・2		2		1							
	書道特別演習Ⅱ	1・2		2		1							
(社会科教育領域専門科目)													
教科教育研究		社会科教育研究Ⅰ	1・2		2		1						
		社会科教育研究Ⅱ	1・2		2			1					
		社会科教育特論Ⅰ	1・2		2		1						
		社会科教育演習Ⅰ	1・2		1		1						
		社会科教育特論Ⅱ	1・2		2			1					

		社会科教育演習Ⅱ	1・2	1		1					
教科 に 関 す る 科 目	歴史	日本史特論	1・2	2	1						
		日本史演習	1・2	2	1						
		西洋史特論	1・2	2		1					
		西洋史演習	1・2	2		1					
		東洋史特論	1・2	2	1						
		東洋史演習	1・2	2	1						
	地理	地理学特論Ⅰ	1・2	2		1					
		地理学演習Ⅰ	1・2	2		1					
		地理学特論Ⅱ	1・2	2							
		地理学演習Ⅱ	1・2	2							
	社会学	社会学特論	1・2	2							
		社会学演習	1・2	2							
	法律	行政法特論Ⅰ	1・2	2				±			退職により、教員減(21)
		行政法演習Ⅰ	1・2	2				±			〃
		行政法特論Ⅱ	1・2	2		1					
		行政法演習Ⅱ	1・2	2		1					
	政治	政治学特論	1・2	2	1						
		政治学演習	1・2	2	1						
	経済	経済政策特論	1・2	2		1					
		経済政策演習	1・2	2		1					
		応用経済学演習	1・2	2							
		経営経済学特論	1・2	2	1						
		経営経済学演習	1・2	2	1						
	倫理・ 哲学	哲学特論	1・2	2	1						
哲学演習		1・2	2	1							
人間学特論		1・2	2		1						
人間学演習		1・2	2		1						
(数学教育領域専門科目)											
教科教育 研究		数学科教育研究Ⅰ	1・2	2	1	±					教員の昇格(21)
		数学科教育研究Ⅱ	1・2	2	1	±					〃
		数学教育特論Ⅰ	1・2	2	1	±					〃
		数学教育特論Ⅱ	1・2	2	1	±					〃
教科 に 関 す る 科 目	代数学	代数学特論Ⅰ	1・2	2	1						
		代数学特論演習Ⅰ	1・2	2	1						
		代数学特論Ⅱ	1・2	2	1						
		代数学特論演習Ⅱ	1・2	2	1						
	幾何学	幾何学特論Ⅰ	1・2	2	1						
		幾何学特論演習Ⅰ	1・2	2	1						
		幾何学特論Ⅱ	1・2	2	1						
		幾何学特論演習Ⅱ	1・2	2	1						
	解析学	解析学特論Ⅰ	1・2	2		1					
		解析学特論演習Ⅰ	1・2	2	1						
		解析学特論Ⅱ	1・2	2	1						
		解析学特論演習Ⅱ	1・2	2		1					
応用数学	応用数学特論Ⅰ	1・2	2	1							
	応用数学特論演習Ⅰ	1・2	2				1				
	応用数学特論Ⅱ	1・2	2				1				
	応用数学特論演習Ⅱ	1・2	2	1							
(理科教育領域専門科目)											
教科教育 研究		理科教育研究Ⅰ	1・2	2	1						
		理科教育研究Ⅱ	1・2	2	1						
		理科教育特論	1・2	2	1						
		理科教育特論演習	1・2	2	1						

教科に関する科目	物理学	物理学特論Ⅰ（素粒子論）	1・2	2								
		物理学特論Ⅱ（応用光学）	1・2	2		+	1					担当者の変更(21)
		物理学特論Ⅲ（原子・分子物理学）	1・2	2			1					
		※物理学特論演習	1・2	2			1					
		物理学特論Ⅳ	1・2	2			1					
	化学	分析化学特論	1・2	2			1					
		※分析化学特論演習	1・2	2			1					
		物理化学特論Ⅰ（電気分析化学）	1・2	2			1					
		物理化学特論Ⅱ（物理有機化学）	1・2	2					1			
		無機化学特論	1・2	2			1		1			カリキュラム充実のため、教員を追加(21)
		有機化学特論	1・2	2					1			
		※有機化学特論演習	1・2	2					1			
		天然物有機化学特論	1・2	2								
	生物学	生物科学特論Ⅰ	1・2	2			1		+			教員の昇格(21)
		※生物科学特論演習Ⅰ	1・2	2			1		+			〃
		生物科学特論Ⅱ	1・2	2					1			
		※生物科学特論演習Ⅱ	1・2	2						1		
		生物科学特論Ⅲ	1・2	2			1					
		※生物科学特論演習Ⅲ	1・2	2			1					
	地学	地球科学特論Ⅰ（地球進化論）	1・2	2			1					
※地球科学演習Ⅰ		1・2	2			1						
地球科学特論Ⅱ（地球環境論）		1・2	2			1		+			〃	
※地球科学演習Ⅱ		1・2	2			1		+			〃	
地域自然史研究		1・2	2			1		+			〃	
地球科学特論Ⅲ（地球物理学）		1・2	2			1						
※地球科学演習Ⅲ	1・2	2			1							
(芸術教育領域専門科目)												
教科教育研究		音楽科教育研究Ⅰ	1・2	2		1						
		音楽科教育研究Ⅱ	1・2	2				1				
		音楽科教育特論	1・2	2			1					
		音楽科教育演習	1・2	2					1			
		美術科教育研究Ⅰ	1・2	2			1					
		美術科教育研究Ⅱ	1・2	2			1					
		美術科教育特論	1・2	2			2					
		美術科教育演習	1・2	2			2					
教科に関する科目	器楽	器楽特論	1・2	2		2						
		器楽演習Ⅰ	1・2	2		2						
		器楽演習Ⅱ	1・2	2		2						
	楽声	声楽特論	1・2	2		1						
		声楽演習Ⅰ	1・2	2		1						
		声楽演習Ⅱ	1・2	2		1						
	作曲・指揮法	作曲特論	1・2	2		1						
		作曲演習Ⅰ	1・2	2		1						
		作曲演習Ⅱ	1・2	2		1						
	音楽学	音楽学特論	1・2	2					1			
		音楽学演習Ⅰ	1・2	2					1			
		音楽学演習Ⅱ	1・2	2					1			
	絵画	絵画特論	1・2	2					1			
		絵画特別演習Ⅰ	1・2	2					1			
		絵画特別演習Ⅱ	1・2	2					1			
	彫刻	彫刻特論	1・2	2					1			
		彫刻特別演習Ⅰ	1・2	2					1			採用により、教員を追加(21)
		彫刻特別演習Ⅱ	1・2	2					1			
	デザイン	デザイン特論	1・2	2					1			
		デザイン特別演習Ⅰ	1・2	2					1			
デザイン特別演習Ⅱ		1・2	2					1				

	工芸	工芸特論	1・2	2	1					
		工芸特別演習Ⅰ	1・2	2	1					
		工芸特別演習Ⅱ	1・2	2	1					
	美術理論・美術史	美術史特論Ⅰ	1・2	2		1				
		美術史特論Ⅱ	1・2	2						
		美術史特論Ⅲ	1・2	2						
		美術史特別演習	1・2	2						
(保健体育教育領域専門科目)										
教科教育研究		保健体育科教育研究Ⅰ	1・2	2	1					
		保健体育科教育研究Ⅱ	1・2	2	1					
		保健体育科教育演習Ⅰ	1・2	2	1					
		保健体育科教育演習Ⅱ	1・2	2	1					
教科に関する科目	体育学	体育学特論Ⅰ	1・2	2	1					
		体育学演習Ⅰ	1・2	2	1					
		体育学特論Ⅱ	1・2	2		1				
		体育学演習Ⅱ	1・2	2		1				
	運動学	運動学特論	1・2	2	1					
		運動学演習	1・2	2	1					
		運動方法学特論	1・2	2	1					
		運動方法学演習	1・2	2	1					
学校保健	学校保健学特論	1・2	2	1						
	学校保健学演習	1・2	2	1						
	健康科学特論	1・2	2	1						
	保健科教育特論	1・2	2							
(生活科学教育領域専門科目)										
教科教育研究		技術科教育研究Ⅰ	1・2	2	1					
		技術科教育研究Ⅱ	1・2	2			1			
		技術科教育特論	1・2	2	1					
		技術科教育特論演習	1・2	2			1			
		家庭科教育研究Ⅰ	1・2	2	1					
		家庭科教育研究Ⅱ	1・2	2		1				
		家庭科教育特論	1・2	2	1					
		家庭科教育特論演習Ⅰ	1・2	2	1					
	家庭科教育特論演習Ⅱ	1・2	2	1					カリキュラム充実のため、科目を追加(21)	
教科に関する科目	電気	電気工学特論Ⅰ	1・2	2	1					
		電気工学特論Ⅱ	1・2	2	1					
		電気工学特別実験	1・2	2	1					
	機械	機械工学特論Ⅰ	1・2	2						
		機械工学特論Ⅱ	1・2	2						
		機械工学特別実験	1・2	2						
	情報	情報処理特論	1・2	2	1					
		情報処理特論演習	1・2	2	1					
		情報科学特論	1・2	2	1					
		情報科学特論演習	1・2	2	1					
		情報システム特論	1・2	2		1				
		情報システム特論演習	1・2	2		1				
	食物学	食物学特論(栄養学を含む)	1・2	2		1				
		食物学特論演習Ⅰ	1・2	2		1				カリキュラム充実のため、科目を追加(21)
		食物学特論演習Ⅱ	1・2	2		1				
	被服学	被服学特論	1・2	2	1					
		被服学特論演習Ⅰ	1・2	2	1					カリキュラム充実のため、科目を追加(21)
		被服学特論演習Ⅱ	1・2	2	1					

住居学	住居学特論	1・2	2							
	住居学特論演習	1・2	2							
保育学	保育学特論	1・2	2			1				カリキュラム充実のため、科目を追加(21)
	保育学特論演習Ⅰ	1・2	2			1				
	保育学特論演習Ⅱ	1・2	2			1				
家政一般	家政一般特論	1・2	2			1				カリキュラム充実のため、科目を追加(21)
	家政一般特論演習Ⅰ	1・2	2			1				
	家政一般特論演習Ⅱ	1・2	2			1				
(英語教育領域専門科目)										
教科教育研究	英語科教育研究Ⅰ	1・2	2			1				
	英語科教育研究Ⅱ	1・2	2				1			
	英語科教育特論Ⅰ	1・2	2				1			
	英語科教育特論Ⅱ	1・2	2			1				
	英語科教育特論Ⅲ	1・2	2				1			
教科に関する科目	英語学	英語学特論Ⅰ	1・2	2		1				
		英語学特論Ⅱ	1・2	2		1				
		英語学特論Ⅲ	1・2	2			1			
		英語学特別演習	1・2	2		1				
	英米文学	英米文学特論Ⅰ	1・2	2		1				
		英米文学特論Ⅱ	1・2	2				1		
		英米文学特論Ⅲ	1・2	2				1		
		英米文学特別演習	1・2	2		1				
	ヨーロッパ文学	ドイツ文学特論	1・2	2		1				
		フランス文学特論	1・2	2		1				

## (2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 2	科目 299	科目 0	科目 301	科目 2 [ 0]	科目 303 [ 4]	科目 0 [ 0]	科目 305 [ 4]	選択科目増減の内訳：5科目増，1科目減

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	美術科教育実践研究	2	1・2	専門	選択	受講生がいなかったため開講しなかった。代替措置なし。

(4) 廃止科目  
該当なし

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「美術科教育実践研究」について、受講生がいなかったため未開講とされているが、類似した授業科目が協働研究実践プロジェクトに用意されているため、特に影響はないものとする。学生へはオリエンテーション等で周知している。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合  
該当なし

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
- 2 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[ ] 内に設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）
- 3 「(3) 未開講科目」は、配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 4 「(4) 廃止科目」は、設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」」欄には、授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- 6 「(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。



### 3 既設大学等の状況

大学の名称	福井大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
教育地域科学部									
学校教育課程	4	100	—	400	学士(教育学)	1.10	平成11年度	福井県福井市文京3丁目9番1号	平成20年度から学生募集停止
地域科学課程	4	60	—	120	学士(地域科学)	1.03	平成20年度		
地域文化課程	4	—	—	60	学士(地域文化)	—	平成11年度		
地域社会課程	4	—	—	60	学士(行政社会) 学士(地域環境)	—	—		
医学部									
医学科	6	105	2年次 5	605	学士(医学)	1.00	昭和55年度	福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23番3号	
看護学科	4	60	3年次 10	260	学士(看護学)	1.00	平成9年度		
工学部									
機械工学科	4	75	3年次 5	310	学士(工学)	1.09	平成11年度	福井県福井市文京3丁目9番1号	
電気・電子工学科	4	64	5	266	—	1.29	—		
情報・IT工学科	4	65	10	280	—	1.04	—		
建築建設工学科	4	65	10	280	—	1.03	—		
材料開発工学科	4	75	—	300	—	1.09	—		
生物応用化学科	4	65	—	260	—	1.08	—		
物理工学科	4	51	—	204	—	1.07	—		
知能システム工学科	4	65	—	260	—	1.08	—		
大学院教育学研究科(修士課程)								福井県福井市文京3丁目9番1号	平成20年度から学生募集停止
学校教育専攻	2	12	—	12	修士(教育学)	0.79	平成20年度		
教科教育専攻	2	25	—	25	—	1.06	—		
学校教育専攻(旧)	2	—	—	—	—	—	平成11年度		
教科教育専攻(旧)	2	—	—	—	—	—	—		
障害児教育専攻	2	—	—	—	—	—	—		
(教職大学院の課程)									
教職開発専攻	2	30	—	60	教職修士(専門職)	1.09	平成20年度		
大学院医学系研究科(修士課程)								福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23番3号	
看護学専攻	2	12	—	24	修士(看護学)	0.62	平成13年度		
(博士課程)									

医科学専攻	4	5	—	10	博士 (医学)	0.30	平成20年 度		
先端応用医学専攻	4	25	—	50	〃	0.44	〃		
形態系専攻	4	—	—	14	〃	—	昭和61年 度		平成20年度から学 生募集停止
生理系専攻	4	—	—	18	〃	—	〃		〃
生化系専攻	4	—	—	18	〃	—	〃		〃
生態系専攻	4	—	—	10	〃	—	〃		〃
大学院工学研究科 (博士前期課程)									福井県福井市文京 3丁目9番1号
機械工学専攻	2	25	—	50	修士 (工学)	1.12	平成15年 度		
電気・電子工学専攻	2	20	—	40	〃	1.57	〃		
情報・メディア工学専攻	2	23	—	46	〃	1.06	〃		
建築建設工学専攻	2	22	—	44	〃	1.15	〃		
材料開発工学専攻	2	24	—	48	〃	1.01	〃		
生物応用化学専攻	2	21	—	42	〃	1.16	〃		
物理工学専攻	2	14	—	28	〃	0.92	〃		
知能システム工学専攻	2	27	—	54	〃	1.03	〃		
ファイバ・アメリティ工学専攻	2	36	—	72	〃	0.67	平成14年 度		
原子力・エネルギー-安全 工学専攻	2	27	—	54	〃	0.88	平成16年 度		
(博士後期課程)									
物質工学専攻	3	6	—	18	博士 (工学)	0.33	平成5年 度		
システム設計工学専攻	3	7	—	21	〃	1.19	〃		
ファイバ・アメリティ工学専攻	3	15	—	45	〃	0.30	平成14年 度		
原子力・エネルギー-安全 工学専攻	3	12	—	36	〃	0.19	平成18年 度		
特殊教育特別専攻科									
知的障害教育専攻	1	30	—	30			昭和52年 度	福井県福井市文京 3丁目9番1号	

(注) 1 本調査の対象となっている大学等の設置者が、すでに設置している大学の学部、学部の学科について状況を記入してください。

(大学院に係るものについては、記入する必要はありません。)

- 2 事前伺い手続き書類の「設置計画の概要」に準じて作成してください。
- 3 「定員超過率」欄には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科の記載は不要です。
- 4 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、備考欄に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

#### 4 教員組織の状況

<教育学研究科 学校教育専攻>

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
12	4	16	0	11	5	16	0	
( 12 )	( 4 )	( 16 )	( 0 )	[ Δ1 ]	[ 1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

<教育学研究科 教科教育専攻>

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
61	20	81	0	61	22	83	0	
( 60 )	( 20 )	( 80 )	( 0 )	[ 0 ]	[ 2 ]	[ 2 ]	[ 0 ]	

<教育学研究科>

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
73	24	97	0	72	27	99	0	
( 72 )	( 24 )	( 96 )	( 0 )	[ Δ1 ]	[ 3 ]	[ 2 ]	[ 0 ]	

「教員数」の「設置時の計画」欄には、完成時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成21年5月1日現在（就任年月に達していない者を含む）の状況を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。  
 (記入例：1名減の場合：Δ1)

## 5 その他全般的事項

〈大学院教育学研究科 学校教育専攻、教科教育専攻〉

### 情報提供に関する事項

#### ① 設置計画書等

- a ホームページに公表の有無 (  有 ・ 無 )
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成21年 7 月 1 日 )
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画書等」掲載ページへのリンク  
(  承諾する ・ 承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
([http://www.fukui-u.ac.jp/cont\\_about/outline/management.html](http://www.fukui-u.ac.jp/cont_about/outline/management.html))

#### ② 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (  有 ・ 無 )
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成21年 7 月 1 日 )
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク  
(  承諾する ・ 承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
([http://www.fukui-u.ac.jp/cont\\_about/outline/management.html](http://www.fukui-u.ac.jp/cont_about/outline/management.html))

(注) 「情報提供に関する事項」の「①」について、現在は未公表であり、今後公表を予定している場合、公表後の取扱いについて記入してください。

また、「①」又は「②」の「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「②」について、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : [d-secci@mext.go.jp](mailto:d-secci@mext.go.jp)

件名は「【調査係あて】AO報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。